

小1国語 出題のねらいと対策

1 ひらがな1 98.0%

ねらい：ひらがなの正しい使い方についての知識を問う。

分析と対策：ひらがなを読む問題です。「あ」と「め」、「き」と「さ」のように形の似た字は、読み間違える可能性があるため注意が必要です。ひらがなを書く練習をする場合にはまず、手本となる字をしっかりと見て、それを正確に写すところから指導してください。

2 ひらがな2 97.6%

ねらい：ひらがなの正しい使い方についての知識を問う。

分析と対策：濁音の表記について正しく理解しているかどうかを確認してください。「あさがお」「だるま」のように音が濁る場合の表記に注意し、苦手な字がなくなるよう復習を繰り返させてください。

3 ただしいぶん 68.4%

ねらい：ひらがなの正しい使い方についての知識を問う。

分析と対策：「オー」と伸ばす音、オ列長音の表記は、原則として「おとうさん」「どうろ」のようになりますが、「とおい」「おおきい」「こおりなどの例外もあることを理解させて下さい。「じ」と「ぢ」の使い分けも同様です。

4 くとうてん(、と。) 37.6%

ねらい：句読点についての知識を問う。

分析と対策：まず、句点(。)が必ず文末にくることを確認します。次に、読点(、)が文に区切りを入れる記号であることを意識させます。読点を打つ位置については、「声に出して読むときに、どこで間をとるとわかりやすいか」と考えさせるのがよいでしょう。長い文章を句読点なしで書いたり、区切りなしで朗読するなどして、区切り符号がないと、文章が不自然になってしまうことに気づかせましょう。原稿用紙に書く場合の、句読点や記号の表し方も確かめておくといよいでしょう。どのような符号も、原則として一マスとります。例外として、行の終わりに句読点がきたときは、最後の字と句読点を一緒に一マスに書きます。また、かぎカッコ閉じの記号と句点とを一緒に書くときもあることを理解させましょう。

全体の平均点は75.4点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。